

日本歯科麻酔学会最優秀発表賞（デンツプライシロナ賞）」選考方法について

日本歯科麻酔学会では、賛助会員のデンツプライシロナ株式会社との取り交わしにより、平成 15 年度よりデンツプライシロナ賞（以下同賞）を表彰しております（平成 29 年度より賞の名称を変更）。

従来は、学術集会終了後に一般演題全てを対象として 4 演題を選考し、1 年後の学術集会時の会員懇親会で表彰を行ってまいりましたが、平成29年10月に長野県松本市で行われた第45回学術集会より、選考方法を変更し、事前エントリー制を採用することとなりました。

同賞に応募していただくには、演題登録時に同賞にエントリーする必要があります。

また、筆頭演者 1 人につき 1 題とし、発表形式は口頭発表となります。

エントリーされた演題について、事前に一次審査を行います。一次審査は、学術集会会長、理事長、および学術委員会にて行います。一次審査にて、臨床部門の演題 6 題、基礎部門の演題 6 題の計 12 演題に絞らせていただきます。その結果、選考された演題を、学術集会初日の午前中に発表していただき、それを審査し、最終的に同賞の基礎部門 2 演題、臨床部門 2 演題を決定します。

最終選考結果は学術集会2日めの午後に発表され、表彰はその日の夕方から開催されますGala dinnerで執り行われます。

なお、一次審査の段階で、選考されなかった演題につきましては、一般演題となりますが、その採否は学術集会会長により決定されますので、予めご了承下さい。また、臨床部門の演題につきましては、症例報告は対象から除外しますので、ご注意下さい。多数のご応募をお待ちしております。

一般社団法人 日本歯科麻酔学会
理事長 宮脇 卓也

学術委員会
委員長 丹羽 均